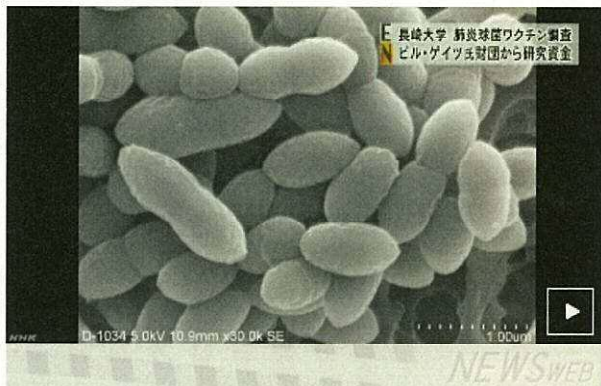


【NHK】長大 肺炎球菌ワクチンで調査

<http://www3.nhk.or.jp/lnews/nagasaki/5033583301.html?t=1447976725681>

▶長大 肺炎球菌ワクチンで調査



肺炎などの病気を引き起こし、発展途上国の子どもの主要な死因の1つとなっている「肺炎球菌」について、長崎大学はアメリカの財団から日本円でおよそ12億円の研究資金を受け、ワクチンの普及を促進するための大規模な調査をベトナムで行うことになりました。

肺炎球菌による病気は乳児や幼児のときに数回ワクチンを接種することで予防できますが、発展途上国では費用の高さから接種が見送られ、この菌による肺炎が子どもの主要な死因の1つとなっています。

このため長崎大学熱帯医学研究所は、ワクチン接種のコストを下げるために接種回数を減らした場合でも従来通りの予防効果を得られるか、ベトナムで大規模な疫学調査を行って検証することになりました。

調査は、現地の3歳未満の子ども3万6000人余りについて、ワクチン接種の有無や回数と肺炎球菌の保菌率を4年間にわたって調べます。

調査にはアメリカの実業家ビル・ゲイツ氏の財団から日本円でおよそ12億円の資金提供を受けますが、この財団による日本の研究機関への10億円規模の提供は初めてだということです。

研究主任を務める長崎大学の吉田レイメント准教授は、「回数を減らしてもワクチン接種による予防効果があることを示し、多くの国でワクチン導入が進むよう努めたい」と話しています。

11月19日 20時15分